



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2025. **3** 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 411

国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に
Together for a Better World

アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう
Make a Great Impact

西日本区理事：鵜丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA

九州部部长：大崎 隆 義 [熊本さくらクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

2月新年例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

2月24日(月)に2月例会を行い、ゲストも含めて15名が参加しました。

2月26日のピンクシャツデーに合わせて、「学校におけるいじめの問題の現状と課題」というテーマで辻慎一郎先生(鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科准教授)の講話をお聴きしました。学校では「いじめ」をどのように捉えているのか、その実態はどんな状況か、またどのように対応しているか、ということをお私たち学校関係者は知らないものです。

辻先生は公立中学校教諭、教育委員会勤務などを経て、最後は県内中学校2校の校長を最後に昨年3月定年退職し、現在の職務に就かれた方です。そのため、このテーマについては大変詳しく、わかりやすくお話をしていただきました。私たちが一口で「いじめ」と言っても、「社会通念上のいじめ」と「法的ないじめ」に区別されること、行為の故意性・意図性によって、4つの種類に分けられることなどを示されました。たとえば、発言の苦手な子供に、「〇〇さんも意見を言いなよ」と強く促すことが、いじめに該当する場合があるなど、対応にはなかなか難しい面があるようです。また教員にとって「いじめの問題への対応の負担感が大きい」という調査結果も報告されました。このテーマについては、1回のお話で終わるのではなく、折々にお話を伺って もっと理解を深めることが必要だと感じました。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



みつかる、つながる、よくなっていく

2月に実施したピンクシャツデー運動は、例年になく大反響となりました。その背景には、鹿児島ワイズメンズクラブや鹿児島YMCAの有志で結成した実行委員の働きがありました。

鹿児島YMCAには以下のとおり活動を推進するという根底に使命を掲げ達成するために働くという基本原則があり、YMCAを支えるワイズメンズクラブも同様にこの使命への理解を高めていかなければなりません。

私たち鹿児島YMCAは、

生涯を通して学び、心豊かな人づくりのために働きます

人と自然が共生できる地球環境をつくるために働きます

心身ともに健康にらせる社会をつくるために働きます

愛に満ち、痛みを分かち合える社会をつくるために働きます

そして、私たちの活動を通じて、鹿児島、日本、さらに、世界の人たちに命と

平和の尊さを伝えます。

この使命を念頭に、取り組まれてきたのがピンクシャツデー運動です。皆さんご存じの通り、いじめについて考えようと啓発するピンクシャツデー運動は、まさに愛に満ち、痛みを分かち合える社会を作るために働いております。私たちはこの使命を通して、ワイズメンである理由がみつかるわけです。

YMCAはブランディング推進を図る中で、YMCAとは？という問いかけと向き合うことになりました。長い歴史の中で、YMCA運動が広がりを見せれば見せるほどシンプルに説明しづらくなっていったのだと思います。鹿児島YMCAも同様でありました。ピンクシャツデー運動は青少年育成を行う社会教育団体と自負している鹿児島YMCAにとってもっともわかりやすく説得力のある活動です。そのわかりやすさが、実行委員という形でつながりを生み、鹿児島県下の教育機関とのつながりを作っていくことになりました。

私たちの活動意義が見いだされ、運動を通してつながりが広がっていくことを感じながら、ではこの運動が社会に対してよくなっていくことはどういうことなのかを今まさに考えている最中です。

社会という枠組みの中でいじめや差別、偏見といった事象は決してなくなることはないと思えるほど難解で複雑な社会課題だといえます。しかし、だからといってあきらめる必要はありません。鹿児島YMCAの基本聖句は、隣人を自分のことのように愛しなさいです。愛に満ちた社会づくりに貢献し、隣人を愛すること、愛がピンクシャツデー運動の出発点だと考えたときに、浮かんでくるのはマザーテレサの言葉です。愛の反対は無関心である。

きっと、私たちはいじめや差別偏見といった社会課題に対して、関心を持ち続け活動していくことが、世の中に対して、私たちの人生がよくなっていくということになるのではないかと考えています。

ピンクシャツデー運動は2月に行われていますが、ワイズメンズクラブとしても鹿児島YMCAと共に年間を通して推進していければと考えています。ピンクシャツデー運動を通してたくさんのつながりを作り、私たちの存在意義を見つけ、社会が、特に子どもたちを取り巻く環境が少しでもよくなっていくことを信じて、一緒に頑張っていきましょう。



つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA

2月は本当に寒い日が続き、全国的にも豪雪となりましたが、ここ数日は少し暖くなり、ようやく春間近という感じになってまいりました。3月に入ると緑も芽吹きはじめ、山菜やたけのこなど旬のはしりの食材で春の訪れをいち早く感じさせてくれます。

今月で早くも今年度の第三四半期の最終月となります。今年度の様々な活動が継続されながら次期に向けた準備も始まっています。理事通信発刊の本日3月1日には、単日で次期会長・主査研修会も開催されております。

さて、2月にはいり、国際・交流事業委員会の拡大委員会が鹿児島で開催されました。歴代の交流事業主任の方も多く参加され、ユースの世界でのインターンシップをサポートする国際協会枠組のiGO (Internship 4Global Outreach) 事業にフォーカスした集中討議をしました。具体的に進める上での課題点の抽出をし、今後の実現可能性に向け一歩前進ができました。これからの進展が楽しみです。また夜には鹿児島クラブの皆さまに温かいおもてなしをいただき、1泊2日とまさに交流事業の神髄ともいべき委員会でした。鹿児島が本当に大好きになりました。是非とも再訪したいと思います。

2月は本当に寒い日が続き、全国的にも豪雪となりましたが、ここ数日は少し暖くなり、ようやく春間近という感じになってまいりました。3月に入ると緑も芽吹きはじめ、山菜やたけのこなど旬のはしりの食材で春の訪れをいち早く感じさせてくれます。

今月で早くも今年度の第三四半期の最終月となります。今年度の様々な活動が継続されながら次期に向けた準備も始まっています。理事通信発刊の本日3月1日には、単日で次期会長・主査研修会も開催されております。各クラブにおかれましても、是非とも目標達成に向けよろしくお願いいたします。また2週間残されています。Let's donate !

ワイズメンズクラブ九州部 2024－2025期 第3回評議会 & YYYフォーラム参加報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

ワイズメンズクラブ九州部第3回評議会 & YYYフォーラムが3月15日(土)に熊本YMCAで開催されました。鹿児島クラブは松若次期会長、徳田ワイズと私の3人参加。協議事項は第1号議案から第5号議案までが上程され、第4号「次々期部長選出の件」、第6号「理事支援準備金積み立ての件」は継続審議となりました。続いてYYYフォーラムは西日本区Yサ・ユース事業の上杉徹主任をお迎えし、緒方玲奈九州部Yサ・ユース事業主査(スマイルリーダー)の司会進行で行われました。まず、YMCAとユースとワイズを代表した発表者6名がこれまでのYMCAとの関わり合いを発表。特にリーダーやウ・ミンウク(YMCA学院日本語科)さん方、若い皆さんの率直な意見を伺えたのが良かったです。

次に出席者全員のグループ協議も活発に行われ、これからのYMCA、ユース、ワイズのあり方について建設的な発表が為されました。最後はキャンプソングの大合唱で盛り上がりました。

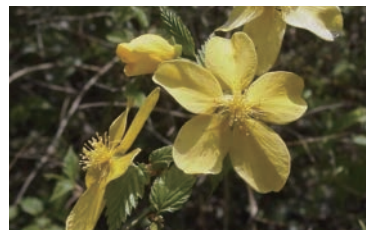
懇親会は城彩苑ーぎんなんで開催。こちらでも盛会に終わりました。特に今回のYYYフォーラムは若い方々の素敵なフレッシュな心にふれる事が出来、中身の濃い内容でした。



今月の樹 ヤマブキ(山吹)

ヤマブキは、バラ科ヤマブキ属の落葉低木。別名はヤマブリ。黄金色に近い黄色の花をつける。春の季語。和名ヤマブキの語源は、古くは「山振」と書かれ、これが転訛したものとされる。ヤマブリの由来は、細くしなやかな枝が、風に振られて揺れ動く姿にちなむといわれる。中国名は「棣棠」と称する。学名はスコットランドの植物学者のウィリアム・カーに由来する。日本では北海道南部、本州、四国、九州に分布し、国外では朝鮮半島、中国に産する。低山の溪流沿いや山の斜面、やや湿り気のある明るい林の木陰などに群生する。古くから親しまれた花で、庭にもよく植えられる。

(ウィキペディア参照)



2 February 2月新年例会報告

日 時：令和7年2月24日(火) 15:00～16:30
場 所：鹿児島市国際交流センター研修室1
出席者：16名
司会者：新内俊昭ワイズ
内 容：卓話者 辻 慎一郎氏
(鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科准教授)
テーマ
「学校におけるいじめの問題の現状と課題」

2月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	9名
メネット	1名
コメット	1名
ゲスト	5名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
2月出席率	178%

今月の聖句

気落ちしている者たちを励ましなさい。

(テサロニケ5章・14節)



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



鹿児島マラソン

3月2日（日）鹿児島マラソン開始当初から沿道での応援隊として参加している鹿児島マラソン。今年は市役所ゴール近くで、パフォーマンスと応援をさせていただきました。



ほれぼれ祭り

3月9日（日）、もう10年のお付き合いとなりましたが、藤安醸造が主催するほれぼれ祭りに出演させていただきました。地域の方々にたくさんよろこんでいただきました。



うちづくりフェスタ

3月15日（土）、国分ハウジングのCMに出演させてもらったことがきっかけで、国分ハウジングが主催するうちづくりフェスタに呼んでいただきました。



鹿児島YMCA 新内 博之